

第7章

史跡狭山池の活用

125

第1節 活用の方向性	127
第2節 活用の方法	127 - 129

「史跡狭山池」にとっての活用とは、地域に生きる人びとが「史跡狭山池」の本質的価値を享受し、それを適切に現代社会に生かすことができる状態を意味する。

狭山池ダム周辺は、平成の改修後、親水空間を備えた公園整備がなされ、多くの人が周遊路を含む空間を利用している。地域住民に対して、史跡狭山池の価値と情報を適切に伝え、地域の文化遺産としての認識を深め、誇りとして感じることができるよう活用をめざすとともに、多様な目的を持って狭山池を訪れる人びとが、等しく史跡狭山池の価値を体感できるような活用を進める。

第1節 活用の方向性

- ① 史跡狭山池の持つ顕在・潜在する本質的価値を引き出し、その恩恵を享受できる活用を検討する
- ② 史跡狭山池の価値を生かし、魅力を向上させる活用を行う。
- ③ 地域社会を活性化させる魅力ある活用の在り方を模索し、史跡の本質的価値の維持・継承の条件に合致し、さらに地域社会の発展に効果をもたらす活用について検討する。
- ④ 多様な団体の参画と連携・共同による持続的な魅力向上の仕組みを構築する。
- ⑤ 史跡狭山池について、適切な情報を提供し、地域住民の理解を深める取り組みを実施する
- ⑥ ダム機能、溜め池機能の維持管理と、史跡狭山池としての本質的価値が共存できる形での活用が進められるよう調整を行なう。

第2節 活用の方法

現在の狭山池の主な利用目的として「散策・体力づくり・桜の花見」などが挙げられる。主な利用場所は、狭山池公園の周遊路であり、池の水面の利用は制限されている。

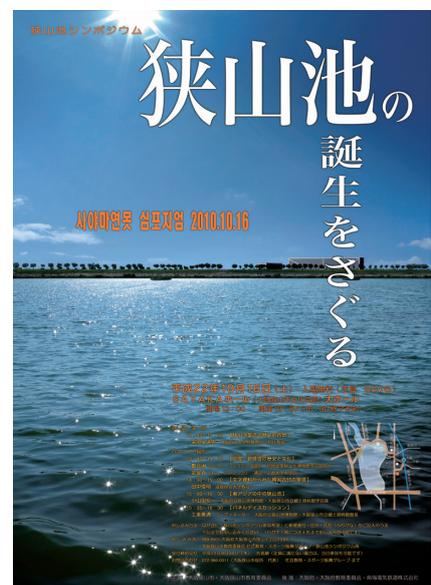
A. 史跡等の本質的価値を学び理解するための活用

市内小学校のカリキュラムにおいて、小学3、4年生で利用する『わたしたちの大阪狭山市』では、3年生で学ぶ最初の「まちのたんけんの計画をたてよう」という項目で学校周辺と狭山池周辺の2か所を2日間かけて探検するカリキュラムが組まれている。小学校での歴史学習のはじめとなる「むかしの道具とくらし」の単元では、郷土資料館で開催する「くらしの道具展」の見学を目的として同学年が狭山池博物館を来訪する。

あわせて、4年生で学ぶ郷土の成り立ちについて学習する「郷土をひらく」の単元では、狭山池の築造から平成の改修までの変遷を7ページにわたって説明している。学校での本教材を利用した学習の後、市内小学校では4年生時に狭山池博物館と狭山池を訪れ、現地見学を実施している。本項目は、5年生以降の歴史学習に繋がる内容となっている。

また、本市教育委員会では、子ども向け市史『おおさかさやまのれきし』を5年生からの副教材として提供している。各学校からの依頼を受け、市担当者による出前授業を行っている。

本市教育委員会事業として、狭山池の価値を市内外に発信することを目的として、学識経験者を招き、シンポジウムを開催している。平成29年度で8回を数える本シンポジウムは、国の文化財活用補助金等を利用しレジュメ集、報告集を刊行している。



シンポジウムポスター

B. 文化的観光資源としての活用

市民活動の一環で、狭山池を含む市内観光資源を多くの市民、市外の人たちにPRすることを目的として「大阪狭山観光ボランティアの会さやか観光会」が活動をしている。狭山池築造1400年事業においては、近隣市町村のボランティアグループとともに、狭山池の水下を対象としてウォーキングイベントを実施し、延べ144人の参加を得ている。

狭山池周遊マラソン・ウォークラリーの開催

大阪狭山市教育委員会で、毎年冬に開催している「大阪狭山市市民マラソン大会」は、狭山池公園周遊路をコースとしており、約200名の参加を得ている。また、大阪狭山市スポーツ推進委員会主催、公益財団法人ライフスポーツ財団の共催を得て大阪狭山市内で開催されるウォークラリーのコースとして狭山池を利用し、市内在住・在勤のファミリー約240人が参加している。



市民マラソン大会

C. 市民の文化活動や憩いの場としての活用 まちづくりと地域のアイデンティティの創出につながる活用

音楽やダンスなど様々なパフォーマンスの披露、多くの模擬店も並ぶ大阪狭山市最大の市民イベントの「狭山池まつり」を、毎年4月の末～5月の初めの土、日に行っている。

本まつりは、「狭山池まつり実行委員会」により狭山池の平成の改修以後実施され、平成29年(2017)4月23日24日の実施で16回を数えた。狭山池公園を会場に、来訪者はおよそ56,000人となっている。2日間開催されるまつりの内、1日目の夕方からは、夜間にかけて狭山池の周遊をロウソクで彩る「灯火輪」が行われている。このイベントにあわせて府立狭山池博物館では、開館時間を夜間9時まで延長、関連イベント等を開催している。

狭山池まつり実行委員会は、事務局を大阪狭山市商工会内に置き、通年行事として「狭山池クリーンアクション」を実施している。毎月第4土曜日に、40～100名の参加を得て、狭山池において清掃活動を行っている。この活動も平成29年(2017)9月23日実施の回で通算200回を数えている。また、狭山池での水質検査を通年で実施し、その情報を公開している。

ほかにも大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館の協働運営への参画、狭山池さくら満開委員会への参画など、狭山池における市民活動の中心を担っている。

狭山池公園での植樹を推進するために平成15年(2003)年に設立された「狭山池さくら満開委員会」により「桜の植樹祭」が毎年2月末頃に開催されている(平成29年2月で13回を数える)。狭山池の良好な水辺環境の創造を目的として、狭山池を中心とした区域において、大阪狭山市のシンボルである桜の植樹・育成を行っている。毎年、建築家安藤忠雄講演会を開催し、会場で集められた「さくら募金」および「NPO法人瀬戸内オリーブ基金」からの助成金を基本として植樹を行っている。あわせて、公園内に設置された「バタフライガーデン」を運営し、周遊する人びとへ憩いの場を提供している。



狭山池まつり



狭山池クリーンアクション



狭山池 蝶の森



桜の植樹祭

市民公益活動支援として「狭山池 犬のフン0大作戦」を実施している。狭山池周遊路での犬の糞をなくし、清潔で安全な周遊環境を維持する団体へ補助金を交付している。

狭山池博物館ボランティアグループは、狭山池まつり実行委員会が市より委託を受けボランティア事務局を運営し、活動を行っている。ボランティアの活動は、狭山池博物館内での展示開設、子ども向けイベントの実施、ウォーキングイベントの実施などが挙げられる。また、池守田中家文書の自主勉強会、ボランティア企画展の実施に伴う自主勉強会などを開催している。

ウォーキングイベントでは、狭山池周遊のイベントを実施するなど狭山池を中心とした活動も実施している。

【今後の活用について】

上記のように狭山池を中心とした様々な活動が実施されている。上記以外にも、ランニングサークルや、本報告書でも活用している野鳥の会による活動なども挙げられる。今後は、現在行われている様々な活動が継続的に実施できる環境を維持するとともに、史跡の本質的価値を学ぶことのできる場の提供として、狭山池博物館との連携を図り、本質的価値を享受できる場を増やすように努める。



狭山池南堤にある野鳥観察スペース